

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2024年5月23日(木)
クラス名(年齢)	5歳児
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

里山での発見③ ～自分なりのステンドグラスを作る～

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

- ・自然の中で工夫し、自然物を用いた遊びをお友達と共有する姿が多く見られるようになっていた。

2. 活動スケジュール

- ・里山で自然物を見たり触れたりしながら発見や気づきを共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・里山
- ・葉っぱ
- ・ステンドグラスの台紙

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・里山で行う。
- ・葉っぱやお花などを見つけ台紙に貼り付けてステンドグラスを作る。
- ・自分の中でイメージを膨らませ、葉っぱやお花を貼り付けていく姿が見られた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> • ステンドグラス作りは2回目という事もあり子ども達のイメージも膨らんでいた。「これをいれたらどうなるかな？」と小さな葉っぱを色々に入れてみたり、「これもよさそう」と枝を入れてみたりと試していた。 • タンポポや紫の花を見つけステンドグラスに入れ込んでいる姿も見られた。 • 「これは何をイメージしたの」と聞いてみると、「ここが木でここが森なんだよ」と言う子や、「葉っぱと葉っぱを合わせてクローバーを作ったんだ」と工夫したところを教えてくれていた。 • 出来上がったステンドグラスを空にかざして観察し A君「あ！はっぱのもようがみえるよ」 B君「ほんとだ。はっぱでももようがちがうよ」等、友達同士で気付いたことを発信し新しい気付きへと広がっていた。 	

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

今回ステンドグラスを行うのが2回目ということもあり、1回目の時よりも「こうしたい」というイメージが膨らみ、それを形にしようと試行錯誤しながら作り上げていた。友達の作っているモノにも視野が広がり「これどこでみつけたの」「どうやってつくったの」と、発見やイメージを共有する場面が多く見られました。今後、自分のイメージを形にできる機会を多く持ちながら、子ども達の感性を広げていきたい。